

< 感想 >

上記の学会に参加し、所属研究室で開発された多相場の解法 (MICS) に、対象者が考察した有限要素法による流体・構造連成モデルを加えた数値計算とその適用生を検討しました。今回は海外研究職のキャリアパスを学ぶことも視野に入れて渡航し、次のような技術が必要と感じました。

- ・英語のプレゼンテーション能力
- ・研究企画書の作成等を含めた研究プロジェクトの企画・マネジメント能力
- ・科学技術コミュニケーションの素養
- ・知的財産活用のための知見

また、これらの技術は研究活動だけでなく、研究者以外の道へ進むことにもつながります。加えて、多くの海外研究者のふれあって次のようなことを感じました。みな、コミュニケーション能力に長けている。また、初対面の人に対しても臆せず共同研究の持ちかけや実験結果の要求をしており、非常にアグレッシブな人が多かった。自己 PR が巧い人が多い。今後も、研究職を目指すうえで見習って生きたいと考えています。

最後になりますが、京土会より助成金を得て「ISOPE2008」に参加できたことは、今後の博士進学を見据えた研究、実務に役に立つ有意義な経験でした。このような経験を積むために助成して頂き、誠にありがとうございました。